

奈良PHP友の会 10月度例会

松下幸之助創業の地～大開見学会と懇親会ご案内

(案内・説明： PHP おおひらき松翁会 会長 市野俊哉氏)

大阪市福島区大開は、大正7年（1918年）松下幸之助翁が事業の礎を築いた創業の地で、生涯本籍を置いた地です。創業まもない幸之助が必死で働いたその足跡を市野俊哉氏のご案内で共に辿ってみませんか。若き日の幸之助の成長の息吹を感じてみましょう！

なお、コロナ感染防止対策として、当日、参加される方はマスクの着用等自主管理をお願いします。また、発熱や咳など、当日の体調がすぐれない方は、参加をご遠慮くださいますようお願いいたします。

1. 日時 2023年 10月21日（土） 13:30～16:30

2. 集合時間 13:30

集合場所 野田阪神駅 中東改札口前
(大阪メトロ千日前線)

(次ページ地図参照)

少雨決行

レクリエーション保険をかけています。



3. 例会の内容

① 大開見学会

行程 大阪メトロ千日前線・野田阪神駅の⑥番出口より

①三井住友銀行→野田阪神駅前通商店街→②第2次本店工場跡（大開 公園 記念碑）→③創業の家跡→④第1次本店工場跡→⑤第2工場跡（ランプ組立工場）
→大開公園 （途中集合写真撮影）

② 懇親会（ジャイアントコーヒー店）野田阪神駅前通商店街内

市野俊哉氏ご夫妻を囲んで～質疑応答・本日の見学会感想など

4. 定員 12名（申込み先着順）

5. 参加費 500円（交通費及びお茶代実費負担）

但し、初参加の方は参加費無料です。

6. 申込み締め切り 10月7日（土）

申込み・問合せ先： 奈良PHP友の会 事務局 後藤 昌弘

FAX 0742-44-0734 携帯 090-8659-0476

メール m-goto26@hera.eonet.ne.jp

松下幸之助創業の地～大開見学会と懇親会

申込み連絡票

《申込み締め切り：10月7日（土）》

- ・申込み・問合せ先：奈良PHP友の会事務局 後藤 昌弘（ごとう まさひろ）
FAX 0742-44-0734 携帯 090-8659-0746
メール m-goto26@hera.eonet.ne.jp

お名前
お電話 FAX
メール
ご住所

個人情報の管理は厳重に行っており、PHP友の会イベントのご案内のみに活用させていただきます。

集合場所 大阪メトロ 野田阪神駅 中東改札口前
(大阪メトロ千日前線)

”創業の地” 大開を歩こう

松下幸之助創業の地 記念碑

創業の家
■1918年(大正7)～1922年(大正11)
1 1918年(大正7)3月7日、松下幸之助は大阪市北区西野田大開町844(当時)のこの家で「松下電気器具製作所」を創立した。
2 隣建での借家の階下3室を工場に改造し、妻と義弟の3人で、扇風機の磚壁を製造する傍ら、最初の製品「改良アタッチメントプラグ」、続いて「二灯用差込みプラグ」を考案・生産した。品質がよく価格も安かったため販売も伸び、同年末には従業員も20人を数えるまでに成長した。

第一次本店・工場
■1922年(大正11)～1936年(昭和11)
2 所主は、創業の家が手狭になったことから、1922年(大正11)、西野田大開町896番地(当時)のこの地に100坪余りの新工場を建設した。
この工場では回転式アタッチメントプラグ、二灯用クラスター(二股ソケット)、砲弾型電池式ランプなど10数種の製品を生産し、従業員数も50名を超える企業に発展した。
その後1929年(昭和4)には第四工場と改称し、金属部品製造工場となったが、所主は、第一次本店・工場のあったこの地に、終生本籍を置いた。

第二次本店・工場
■1929年(昭和4)～1953年(昭和28)
3 松下電気器具製作所は昭和初期の不況のなかでも続け、1929年(昭和4)3月に社名を「松下電器製作」と改称、続いて4月には「綱領・信条」を制定して、経営基本方針を明示し、5月には大開町2丁目25番地(当時)この地に、第二次本店・工場を竣工した。延べ457坪の建物は、新本店・月産10万台の生産能力を持つランプ工場の所主の住居や店員寮等も有する本格的なものであった。
1933年(昭和8)、業容の急速な拡大により、所主の本拠を門真に移転した。その後この建物を営業部門や貿易部門が使用し、1953年(昭和28)に移転するが、土地は公園や幼稚園として今も地質さんに活用されている。

第二工場(ランプ組立工場)
■1925年(大正14)～1934年(昭和9)
4 1925年(大正14)、所主は砲弾型電池式ランプの販売量が増加し、第一次本店・工場も手窄ったため、ここ大開町4丁目28番地(当時)ランプ組立工場を建設した。
初めて「ナショナル」の商標を使用した。ランプもこの工場から生まれ、自転車用だけでなく手掛け用にもなる便利さと、外観もスマートでコンパクトな箱型だったことから、需要大幅に拡大し、大ヒット商品となった。